



くわがた通信



VOL. 78
2019.08

手稲区 富丘西宮の沢まちづくりセンター

〒006-0012 札幌市手稲区富丘2条2丁目1-1 (Tel. 685-4745 Fax. 685-0376)

～きれいで住みよいまちづくりを目指して～ **不法投棄撲滅啓発パレード**



6月11日(火)、富丘西宮の沢地区で、同地区の住民ら約120人が不法投棄の撲滅とクリーンなまちづくりを訴え、パレードを行いました。これは、富丘西宮の沢まちづくり協議会が、ごみの不法投棄を防止しようとしている取り組みの一つで、今年で16回目。同協議会の不法投棄対策委員会が主体となって、地域を挙げて取り組んでいます。

パレードに先立って行われた出陣式では、武田泰明委員長が「10年程前は多かった不法投棄は、このパレードを始めてからほとんどなくなりました。今後もきれいなまちづくりに努めていきましょう」と参加者に呼び掛けました。

次に、田中俊成手稲区長が「地域の皆さんが一体となって本日のパレードなどさまざまな活動に取り組まれたことで、不法投棄が減少したと聞いております。本日はよろしくお願ひします」とあいさつしました。続いて、同委員会から「われわれ富丘西宮の沢地区住民は、常にきれいで、住みよいまちづくりのために、この地区の道路、河川、公園、山林、空き地から、ごみの不法投棄を撲滅するとともに、ごみステーションの不適正な利用の防止に努め、クリーンで快適な生活環境をつくることを宣言します」と力強く宣誓文が読み上げられ、出陣式が終了しました。

その後、参加者は、富丘西宮の沢まちづくりセンターを出発し、手稲警察署のパトカーの先導のもと、国道5号線沿いなど同地区の約3キロメートルを、不法投棄防止を訴えるのぼりを掲げ、道中のごみ拾いを行いながら、1時間ほどかけて行進しました。また、広報車として環境局西清掃事務所の車両のスピーカーを使って、「清掃活動を行い花で彩るなど、富丘西宮の沢地区を不法投棄のない「さわやかなまち並み」にしましょう」と、地域住民や行き交う車のドライバーに不法投棄撲滅を呼び掛けていました。

～地域住民で協力～ **三樽別川クリーン大作戦**

6月15日(土)、富丘連合町内会の主催による「三樽別川クリーン大作戦」が実施され、三樽別川沿いを中心とした町内会関係者や富丘小学校の関係者ら約70人が、川沿いの清掃活動を行いました。富丘地区を流れる三樽別川は、サケが遡上する清流として地域住民から親しまれており、川に入り自然観察ができる場所もあることから、近隣の小学校の理科の学習にも利用されています。三樽別川では、以前から川沿いの町内会が清掃活動を行っていますが、平成25年から



は、連合町内会も「三樽別川クリーン大作戦」として河川の環境美化に取り組んでいます。

この日、参加者は富丘やまばと公園に参集。武田泰明会長のあいさつの後、参加者はゴミ袋や火ばさみなどを手に、上流の手稲山麓 2 号橋付近の川沿いから、落ちている空き缶やペットボトルなどのごみを拾い始めました。活動は下流の「川と魚のふれあい広場」まで行われ、約 1.6 キロメートルの区間を約 1 時間かけて清掃しました。

参加者たちは「昨年のごみの量は少なかったが、今年はさらに少なくなっていた。活動を行うたび、拾うごみの量がだんだん少なくなっている。成果が表れてきているのはうれしいですね」と話しており、日頃の清掃活動の大切さを改めて感じていました。

～地域で災害に備える～ 自主防災訓練



7月14日（日）、西宮の沢公園で、西宮の沢連合町内会主催の自主防災訓練が開催され、同地区の 7 単位町内会・自治会の住民約 210 人が参加し、手稲消防署や手稲消防団などの関係機関が訓練の支援を行いました。この訓練は平成 23 年から実施され、今年で 9 回目を迎えました。



訓練に先立ち、西宮の沢連合町内会の鈴木唯五郎副会長から「昨年 9 月には大きな地震が発生しました。このような災害に備えるためには、普段からの訓練が大切です」とあいさつがありました。この日は、西宮の沢公園内を救命処置訓練、消火器取扱い訓練、応急担架作成訓練、煙道通過訓練、砂防

えん堤模型を使った土砂災害のシミュレーションの 5 つのエリアに分け、参加者は 4 グループに分かれ一斉に訓練を開始しました。救命処置訓練では、参加者は心臓マッサージの方法や AED（自動体外式除細動器）の使い方を学び、真剣な表情で実習に取り組みました。

また、砂防えん堤模型展示のエリアでは、北海道空知総合振興局札幌建設管理部の職員が、川と家屋をイメージした模型に水を流し、参加者は土石流発生のしくみと土石流を防ぐ砂防えん堤対策について学びました。訓練の最後には、500 リットルの水槽から水を対象地点まで運ぶグループ対抗のバケツリレーが行われ、各グループとも息のあったバケツ運びで水槽内の水はあっという間になくなり、地域住民の団結力の高さがうかがえました。

～一人暮らしのお年寄りの交流～ 福まち「ふれあい交流会」

7月17日（水）、富丘西宮の沢地区福祉のまち推進センター（福まち）が主催する「ふれあい交流会」が開催されました。この交流会は、当地区にお住いの 70 歳以上の一人暮らしのお年寄りが対象で、地域とのつながりを保ち、仲間づくりの場として開催されています。

会場の「ていね温泉ほのか」に集まった約 80 名のお年寄りは、手稲区保健福祉部の保健師に健康相談を行ったり、温泉でリラックスしたりした後、食事をしながら歓談しました。

その後、自らが 1 から 100 の数字を書いた手作りカードでのビンゴゲームのほか、抽選会が行われ、ビンゴの数字の発表のたびに一喜一憂したりするなどして盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。



さっぽろ市
02-001-19-850
31-2-657